

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/	/	/	/ ~	/	/	/		
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目 ~	術後4日目	術後5日目	術後6日目以降
目標	手術の準備を整えることができる。		血圧や脈拍など循環状態に異常がない。 足の循環障害がない。 創部、ドレーンからの排液性状に問題がない。 血尿の増悪がなく、尿の流出が順調である。				排便がある。	→ 尿道カテーテルが抜去でき、抜去後には自尿が確認できる。	
処置	弾性ストッキングのサイズを測定します。 おへその処置をします。	手術室に行く前に体温、脈拍、血圧を測ります。 義歯、指輪、ネックレス等は全てはずしてから手術室に行きます。 弾性ストッキングをはきます。	適宜、体温・血圧・脈拍を測定します。 酸素を吸入します。 心電図モニターを装着します。 お腹に管が入ります。	酸素吸入を中止します。 心電図モニターをはずします。 お腹の管は経過をみて医師が抜きます。					
点滴			点滴は持続します。 *血尿が強い場合は膀胱を持続的に洗浄する点滴をします。 血栓予防の注射があります。				→ 食事が摂れている場合は点滴終了となります。		
お薬	持参薬の確認をします。 お薬手帳がある場合は持参してください。 15時、21時に下剤を内服します。	朝、持参薬は指示されたものだけ内服します。		持参薬も再開になります。 *抗血栓薬等は指示があるまで中止です。					抗血栓薬・抗凝固薬を服用している方は、 月 日 再開してください。
検査	必要時、採血があります。			朝、採血があります。					
食事	夕食のときに術前飲料水が出ます。 21時以降は食事はできません。 	朝まで術前飲料水を飲むことができます。 □ 午前手術 ⇒ 朝7時まで □ 午後手術 ⇒ 朝9時まで	食事や水分をとることはできません。ベッド上でうがいをすることは可能です。 	朝から水分がとれるようになります。 状態に応じて昼食から食事が始まります。					
活動安静度	制限はありません。		ベット上で安静に過ごします。 起き上がることはできませんが、寝返りは可能です。必要時、体の向きを変えます。	朝から起き上がることがきます。座る練習から始め、その後看護師と一緒に歩く練習をします。		制限はありません。 3日目から骨盤底筋の体操をします。			
排泄			尿管が入り、自然に尿が排出されます。 痛い時、違和感が強い場合は、看護師を呼んでください。 排便はベッド上になるので、看護師にお知らせください。						検査後、問題がなければ尿管が抜けます。管が抜けた後は、自尿が問題なく排尿されるか確認するため、尿を袋にためていただきます。
清潔	シャワーに入ります。		何かあったらすぐにナースコールを押してくださいね。 	温かいタオルで体を拭きます。 		お腹の管が両方とも抜けるとシャワー浴が可能です。 			
説明指導	病棟を案内し、入院中の生活とスケジュールについてご説明します。 同意書等の書類を確認しお預かりします。		手術後、痛みやお腹が張った感じがする場合は看護師に知らせてください。 	水分は多めに取りましょう。(1日1.5~2.0L) 便秘傾向の場合は医療者へ相談してください。 過度ないきみはよくありません。 尿の袋は腰の高さより持ち上げないでください。					退院は10時頃です。 退院時に必要な書類と処方薬をお渡しします。 次回外来の説明をします。
その他		ご家族の方は()までに病室にお越しください。 手術中は4階のファミリールームでお待ちください。 PHSをお渡しします。							



外来日まで激しい運動は避けてください。自転車やバイクの乗車、長時間座って過ごすことは避けてください。
38度以上の発熱や腹痛などの症状がある場合は、外来にご連絡、ご相談ください。